

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

<p>お客様へ</p> <p>本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。</p>
--

警告	電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
-----------	---

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この設置説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA ExwavePRO

SNC-DM160

SNC-DS60

© 2008 Sony Corporation Printed in China



<p>お問い合わせは</p> <p>「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ</p> <p>ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1</p> <p>http://www.sony.co.jp/</p>

安全のために


ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながるすることがあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーのサービス窓口に相談する。


<p>警告表示の意味</p> <p>この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。</p> <p>警告</p> <p>この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながるがあります。</p> <p>注意</p> <p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。</p>	<p>注意を促す記号</p> <p> 火災</p> <p> 感電</p> <p>行為を禁止する記号</p> <p> 禁止</p> <p> 分解禁止</p> <p> ぬれ手禁止</p> <p> 水ぬれ禁止</p> <p>行為を指示する記号</p> <p> 指示</p>
---	---

警告	下記の注意を守らないと、 火災や感電、落下により死亡や大けが につながるがあります。
 	火災 感電


設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

	特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは十分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。
--	---




指定された電源コードや接続ケーブルを使う

	設置説明書に記されている電源コードや、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。
--	---


指定された電源電圧で使用する

	指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
--	--------------------------------------



設置は専門の工事業者に依頼する

	設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。
	壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。十分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
	また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。



製品の設置は十分な強度のある場所に取り付ける

	強度の不十分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。
--	--




機器や部品の取り付けは正しく行う

	機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
	設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。


電源コードや接続ケーブルを傷つけない


	電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">電源コードを加工したり、傷つけたりしない。 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない



	次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">ぐらついた台の上 傾いたところ 振動や衝撃のかかるところ
	また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない


	コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。
--	-------------------------------------

	注意	下記の注意事項を守らないと、 けが をしたり周辺の物品に 損害 を与えたりすることがあります。
--	-----------	---

分解や改造をしない



	分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
	内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない


	ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
---	-------------------------------------

ぬれ手禁止

禁止


	水や異物が入ると、火災の原因となります。
	万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

接続の際は電源を切る

	電源供給機器の電源を入れたまま電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。
---	---



指示


移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

	接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
---	--

指示

異臭、煙がでたら電源を切る

	異臭や煙が出たら、すみやかに使用を中止してください。火災や感電の原因となることがあります。
	電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜き、ソニーのサービス担当者までご連絡ください。

	この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
---	---

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上のご注意

ご使用の前に

開梱してから、結露などがある場合には60分程度、放置後電源を入れてください。

データ・セキュリティについて

- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生した場合には、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。また、記録されたデータの損失、修復の責任も負いかねます。
- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について

本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

- 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について

非常に明るい被写体(照明や太陽など)を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- 極端に暑いところや寒いところ(使用温度は－30℃～＋50℃)
- 暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 強い振動や衝撃のあるところ
- ほこりの多いところ
- 蛍光灯や窓の反射の影響を受けるところ
- 不安定な照明の下(フリッカーを起こします。)

寒冷地での使用について

本機内部にはヒーターが内蔵され、内部温度が低下すると自動的に動作します。環境によっては、ドームカバーに付着した雪や霜を解凍出来ない場合があります。

使用温度について

すでに電源が入っている場合、カメラ本体に内蔵されたヒーターにより－30℃～＋50℃の範囲で動作が可能ですが、必ず外部温度が0℃～＋50℃の範囲で電源を入れてください。

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

- 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

- レンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

カメラを屋外に取り付けるとき

- カメラ本体とドームケースをしっかり取り付けてください。
- カメラ本体に雨などが入らないように、シーリング材(シリコンシーラントなど)で次の場所を密閉してください。
- カメラ取り付け用ネジ穴(4か所)
- 接続口(本体ケースの側面と底面)

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

<p>レーザービームについてのご注意</p> <p>レーザービームはCCDに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CCD表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。</p>
--

CCD 特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CCD（Charge Coupled Device）特有の現象で、故障ではありません。

白点

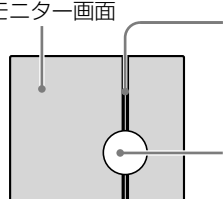
CCD撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微かな白点が発生する場合があります。これはCCD撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターのとき

スミア現象

強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上に縦線や画乱れが発生することがあります。

	縦に薄く尾を引いたような画像になる。
---	--------------------

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

付属の説明書について

設置説明書(本書)

この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ネットワークカメラ簡単設定ガイド(CD-ROMに収録)

カメラで撮影した映像をコンピュータで見えるための設定のしかたが記載されています。

設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、簡単設定ガイドをご覧になって設定を行ってください。

ユーザーガイド(CD-ROMに収録)

カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。

ユーザーガイドをご覧になってカメラを操作してください。

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイドと簡単設定ガイドがPDF形式で記録されています。

準備

付属のCD-ROMに収録されているガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。

Adobe Reader 6.0J以上

Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。

http://www.adobe.com/

マニュアルを読むには

- CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

表紙ページが自動的にWeb ブラウザで表示されます。

Web ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROMに入っているindex.htm ファイルをダブルクリックしてください。
- 読みたいマニュアルを選択してクリックする。**

マニュアルのPDFファイルが開きます。

「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

ご注意

- Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。
- 「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
- CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください(有料)。

AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

各部の名称と働き

図は、ドームケースとスリットカバーをはずした状態です。

側面

ケーブル①、②、③は、出荷時は接続されていません。

- オーディオケーブル(付属)**

長いケーブルをライン出力端子(SP表示)、短いケーブルをマイク/ライン入力端子(MIC表示)として使用します。
- I/O（入出力）ケーブル(付属)**

1系統のセンサー入力、2系統のアラーム出力を備えています。

各ワイヤーは次の信号に対応しています。

ワイヤーの色	名称
赤	センサー入力+
白	センサー入力－(GND)
黒	アラーム出力1+
黄	アラーム出力1－
茶	アラーム出力2+
緑	アラーム出力2－

- 各機能や設定について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。
- 配線についてはI/Oケーブルの接続)をご覧ください。

- ワイヤーロープ用スリット**

この部分にワイヤーロープを通してください。

◆ 詳しくは、「カメラを取り付ける」(裏面)をご覧ください。
- カメラヘッド押え**
 - レンズ**
 - LANケーブル(RJ45)(付属、出荷時に接続済み)**

市販のネットワークケーブル(UTP、カテゴリ－5)を接続してネットワーク(10BASE-T/100BASE-TX)に接続します。
 - 電源入力ケーブル(付属、出荷時に接続済み)**

AC 24V またはDC 12V の電源供給装置へ接続します。

ケーブル先端のコネクターチップに延長用ケーブルをネジ止めできます。
 - BNCケーブル(付属)**

本機からの映像をコンポジット信号として出力します。

接続口(NPT 3/4)

パイプを接続します。接続口はカメラ本体の底面と側面にあります。出荷時は側面の接続口にカバーが付いています。必要に応じてカバーを付け換えて、パイプを取り付けてください。
 - レンズリング固定ネジ**

ネジをゆるめてからズームとフォーカスを調整し、そのあと締めて固定します。ネジは3か所に付け換えることができます。
 - ズームリング**

撮影範囲(ズーム)を調整します。
 - フォーカスリング**

フォーカスを調整します。

内面

- カメラ本体**
- LANポート**

付属のLANケーブルを接続します。
- AC/DC IN（電源入力）端子**

付属の電源入力ケーブルを接続します。
- EXT CTRL（外部出力）端子**

付属のI/O ケーブルを接続します。
- POWER (電源) インジケーター（緑）**

カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。正常の場合はこのインジケーターが点灯します。
- NETWORK（ネットワーク）インジケーター（緑）**

ネットワークに接続されているときは緑色に点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。
- VIDEO OUT（映像出力）インジケーター**

VIDEO OUTスイッチの設定に応じてカメラの動作モードを表示します。IPモードのときは消灯、NTSC+IPモードのときは緑色で点灯、PAL+IPモードのときは緑色で点灯します。
- カメラ取り付け用ネジ穴(4か所)**

取り付けの際、取り付けネジはしっかり締めてください。
- MONITOR（モニター）出力端子**

ビデオモニターの映像入力端子と接続します。カメラおよびレンズの調整を行うとき、本機で撮っている画像をビデオモニター画面上で見ることができます。調整が終わったら、ケーブルをはずしてください。
- VIDEO OUT（映像出力）端子**

付属のBNCケーブルを接続します。
- AUDIO（オーディオ）端子**

付属のオーディオケーブルを接続します。
- AUDIO IN（オーディオ入力）切換スイッチ**

マイク/ライン入力端子に入力されるオーディオ信号の入力レベルを切り換えます。

LINE：ライン入力レベル

MIC：マイク入力レベル（工場出荷時はMIC。）
- IRIS（アリス）切換スイッチ**

レンズのフォーカス調整時に使用します。

スイッチを押すたびに、レンズのアイリスが開放(全開)と通常状態に切り替わります。（工場出荷時は、通常状態。）

開放になると、画面にIRIS OPEN表示とフォーカスアシストインジケーターが表示されます。VIDEO OUTスイッチがNTSC+IPモードまたはPAL+IPモードのときはMONITOR端子またはVIDEO OUT端子に接続したモニターの画面に、IPモードのときはコンピュータの画面にインジケーターが表示されます。

◆ 詳しくは、「フォーカスアシスト機能」(裏面)をご覧ください。
- VIDEO OUT（映像出力）切換スイッチ**

スイッチを押すたびに、カメラの動作モードがIPモード→NTSC+IPモード→PAL+IPモード→IPモード…と順番に切り替わり、VIDEO OUT インジケーターの表示が変化します。（工場出荷時は、IPモード。）

ビデオモニターを使用して画角調整をする場合、このスイッチで適切なビデオ信号を選択してください。

IPモード：MONITOR端子およびVIDEO OUT端子からビデオ信号は出力されません。（VIDEO OUT インジケーター→消灯）

NTSC+IPモード：MONITOR端子およびVIDEO OUT端子から、NTSC規格のビデオ信号が出力されます。（VIDEO OUT インジケーターは緑色で点灯）

PAL+IPモード：MONITOR端子およびVIDEO OUT端子から、PAL規格のビデオ信号が出力されます。（VIDEO OUT インジケーターは緑色で点灯）

ご注意

NTSC+IPモードやPAL+IPモードの場合も、LAN経由で画像や音声をコンピュータに出力することができますが、制約があります。制約の詳細についてはユーザーガイドをご覧ください。

- リセットスイッチ**

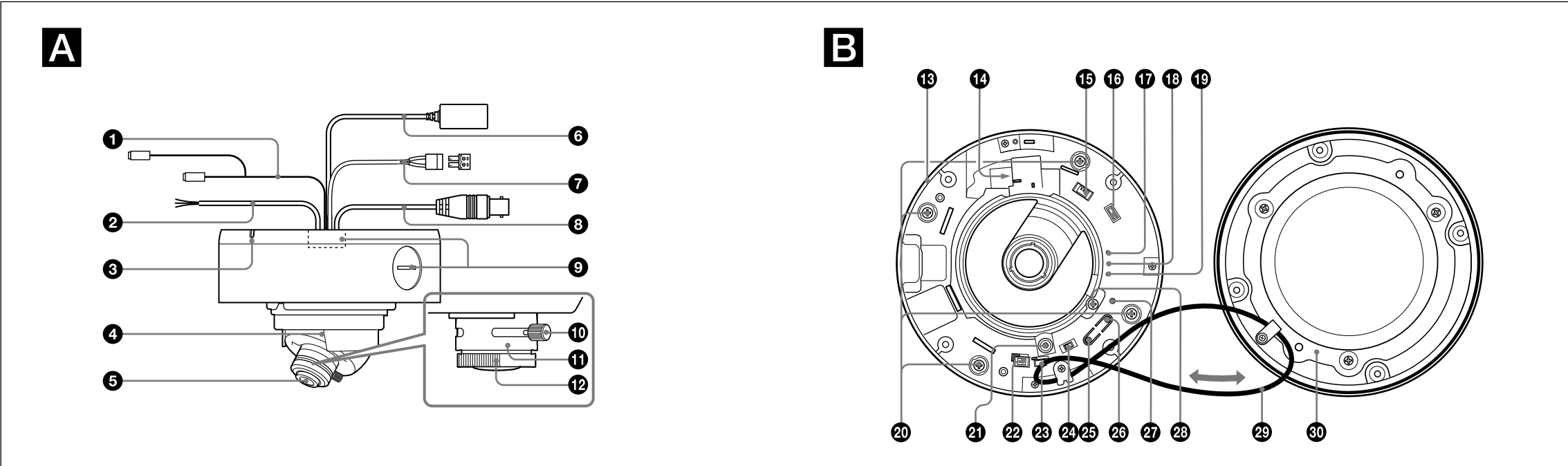
先の細い物でこのスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。
- カメラヘッド固定ネジ**

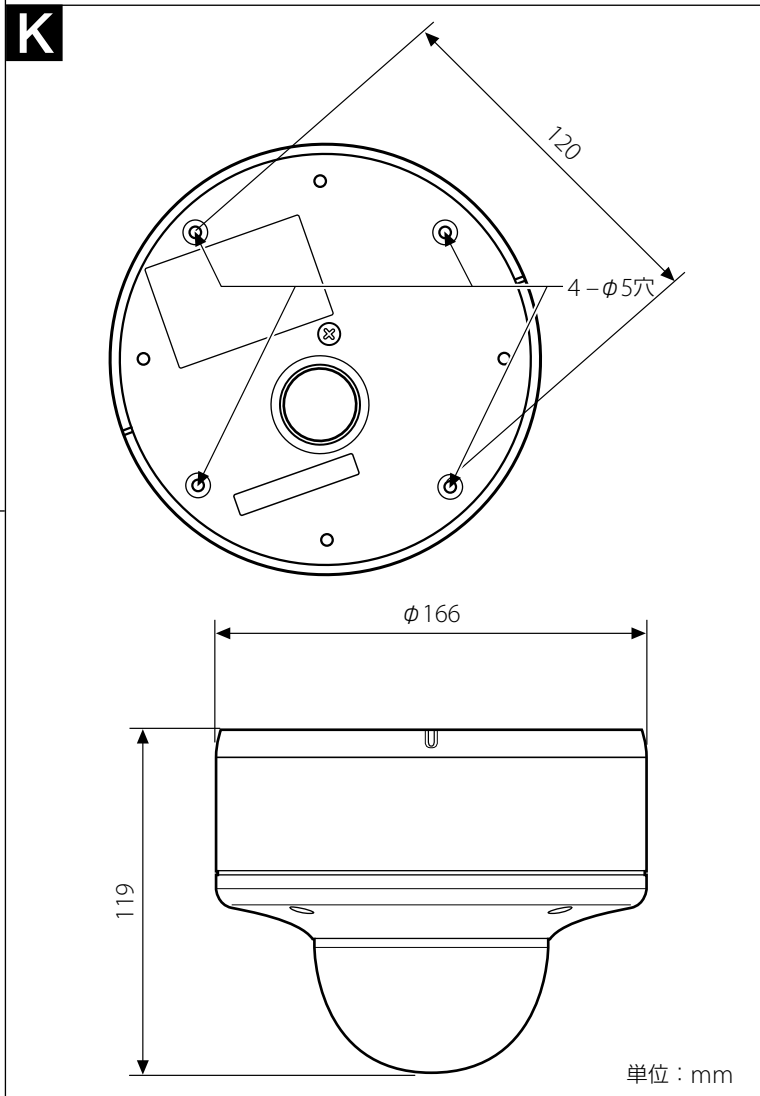
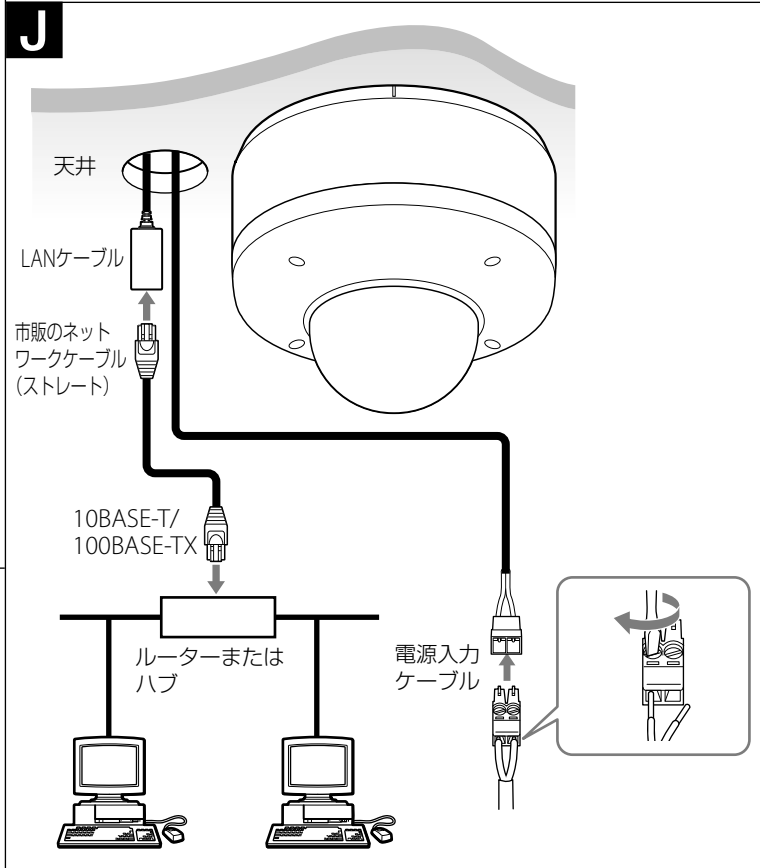
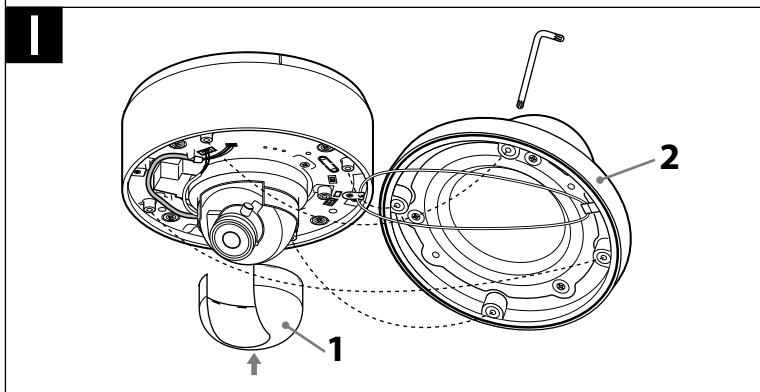
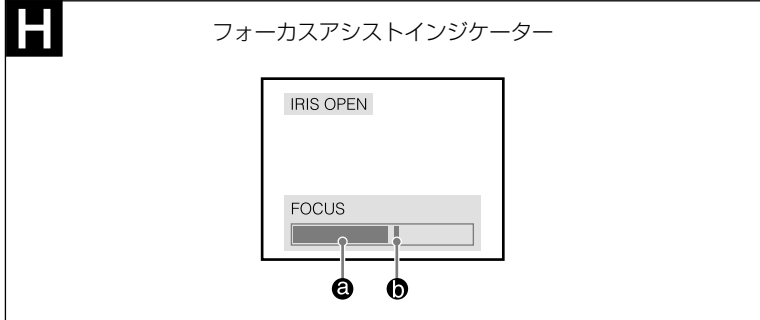
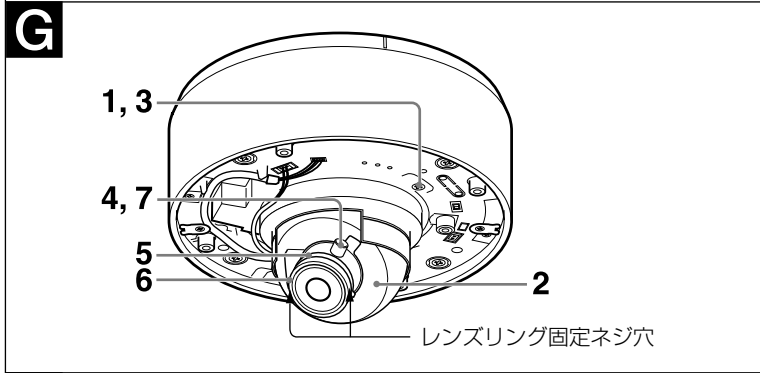
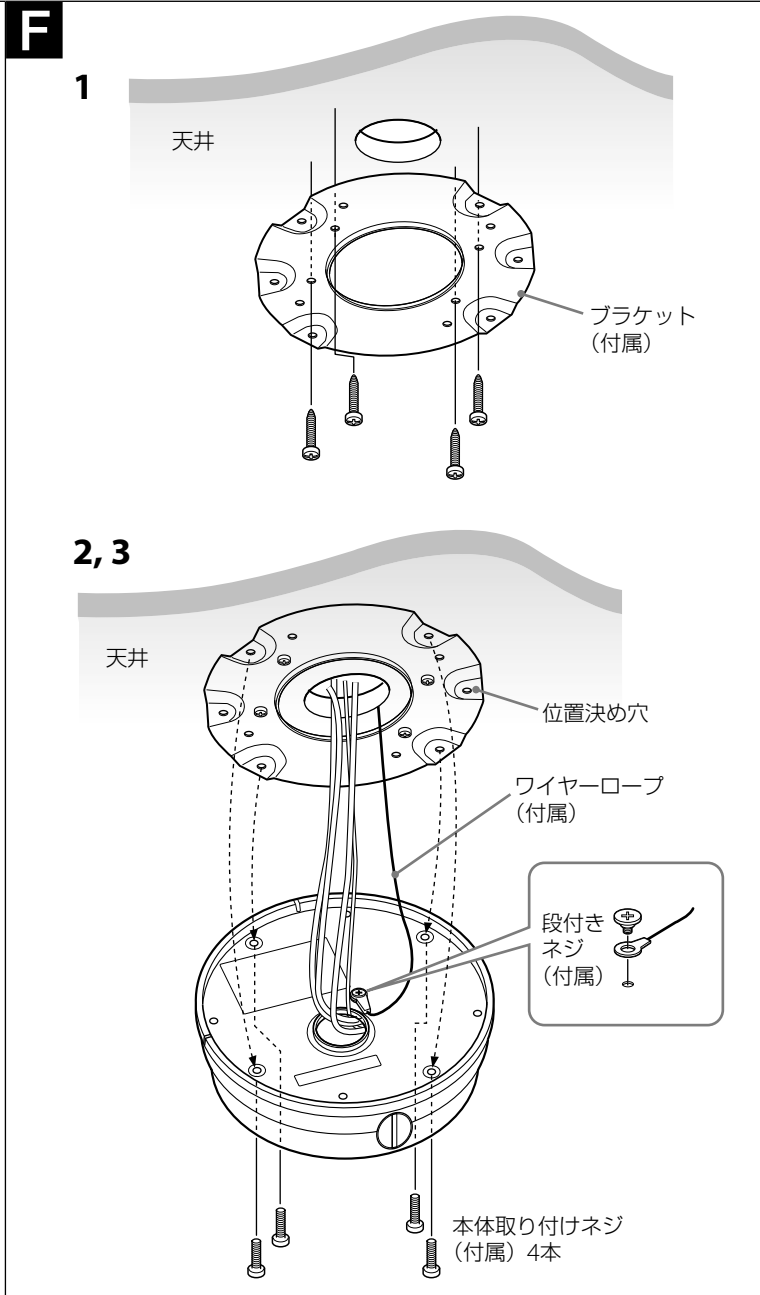
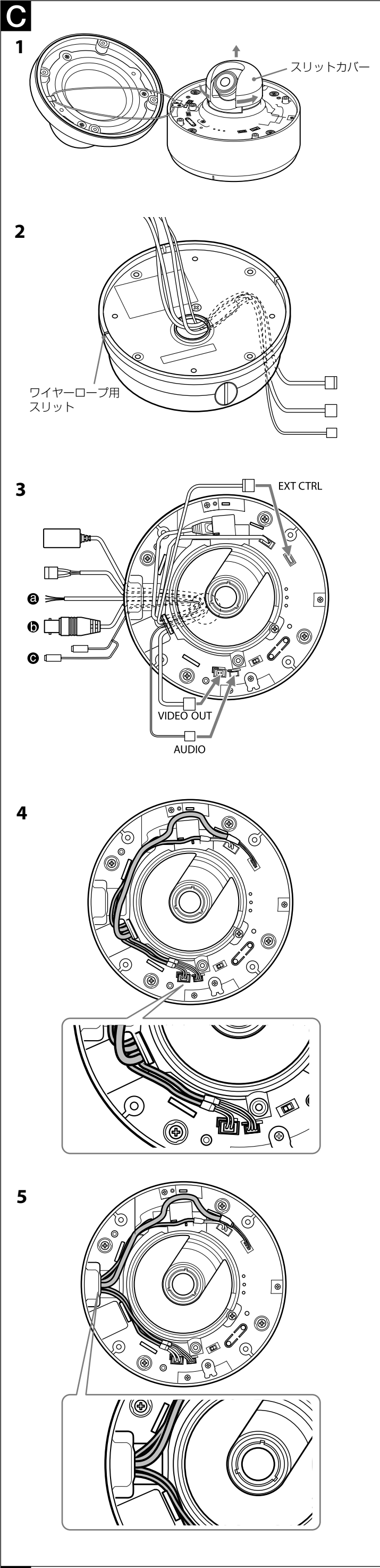
ネジをゆるめてからカメラヘッドを撮影したい方向に向け、そのあと締めて固定します。
- 脱落防止コード**

ドームケースを開けたときにカメラ本体からドームケースが脱落するのを防ぎます。
- ドームケース**

ドームカバーはポリカーボネート製です。本体との接合部には防水用ゴムが付いています。

（裏面へ続く）





準備

カメラにケーブルを接続する

設置の前に、ご使用環境に合わせ、必要な付属ケーブルをカメラに接続し、配線しておきます。

- ドームケースとスリットカバーをはすす。
付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をゆるめ、ドームケースをはずしてください。また、スリットカバーを外側に広げるようにして取りはずしてください。
- 使用するケーブルをカメラ底面の接続口から通す。
◆ケーブルを側面から引き出すときは、「側面の接続口を使うには」をご覧ください。
- ケーブルを端子に接続する。
④ I/Oケーブル：EXT CTRL端子へ
⑤ BNCケーブル：VIDEO OUT端子へ
⑥ オーディオケーブル：AUDIO端子へ
- ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。(D-4)
- 底面側から軽くケーブルを引いてケーブルのたるみをなくす。

側面の接続口を使うには
出荷時は底面の接続口から電源ケーブルとLANケーブルが接続されています。側面の接続口から引き出したい場合は以下の手順に従ってください。

- 側面の接続口カバーをはすす。
- 各種ケーブルをコネクターからはずし、底面の接続口からケーブルを取り出す。
- 必要なケーブルを側面の接続口から差し込み、コネクターに接続する。
- ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。(D-5)
- はずした接続口カバーを底面の接続口に取り付ける。

ご注意

- 底面の接続口が汚れていると、接続口カバーがうまく取り付けられず、カメラ本体に雨などが入り、故障の原因になります。柔らかい布などで汚れを拭き取り、しっかりと締めて取り付けてください。
- 雨などを防ぐため、パイプやカバーを取り付けたあとに、シリコンシーラントなどで密閉してください。
- 雨などを防ぐため、壁などに縦に取り付けるときは、側面の接続口が真下に来るように取り付けてください。(D-1)
- カメラ本体の内部が傷つかないように、パイプやカバーはネジ部分が12mm以下のものを使ってください。(D-2)

設置

警告

- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材(付属品を除く)が15 kg以上の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 天井へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいることを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める

カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートをを使って配線用の穴(φ73 mm)をあけ、ブラケット取り付け用穴(4か所)の位置を決めます。

取り付けネジについて
付属のブラケットにはφ4.5 mmの穴が8か所あいています。このうち、4か所を使ってブラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。)

鋼材の場合：M4ネジとナットで固定してください。
木材の場合：タッピンネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。
コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。

ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

カメラを取り付ける

- 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。
使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。
- 付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。
① 付属の段付きネジで、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。
② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。
カメラを壁面に設置するときは、ワイヤーロープ用スリットにワイヤーロープを通してください。(D-1)
- 付属の本体取り付けネジ(4本)でブラケットにカメラ本体を取り付ける。
ネジには脱着防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落下しません。カメラ本体を回して、カメラ底面の突起がシーリングブラケットの位置決め穴にカチッと合まるようにします。突起は90°ごとに4か所ありますので、カメラの向きを4方向に設定できます。

ご注意

天井や壁に取り付けネジを使えない場合や、カメラ本体を自立させたくない場合は、天井埋め込み金具YT-ICB45 (別売)をご使用ください。

撮影方向と撮影範囲の調整

- カメラヘッド固定ネジをゆるめる。
- カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。
- カメラヘッド固定ネジを締めてカメラを固定する。
- レンズリング固定ネジをゆるめる。
- ズームリングを回して画角を決める。
- フォーカスリングを回してピントを合わせる。
モニター画面に表示されるフォーカスアシストインジケーターを利用するとピント合わせが簡単にできます。「フォーカスアシスト機能」(下記)をご覧ください。
- レンズリング固定ネジを締めて、ズームとフォーカスを固定する。
- 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1～7を繰り返す。

ご注意

- カメラヘッド固定ネジをゆるめずにカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。
- カメラヘッドの動きが重く調整しにくい場合は、スムーズに動くまでカメラヘッド固定ネジをゆるめてください。
- カメラヘッド押えの切り欠き部にレンズが入っていないと、カメラヘッドの可変範囲が制限されます。
- レンズを360°以上回転させないでください。内部の配線が破断される恐れがあります。
- レンズリング固定ネジのネジ穴は、120°間隔で3か所あります。カメラヘッドの向きによってレンズリング固定ネジが調整に支障をきたす場合は、いったん取りはずして他のネジ穴に付け換えて調整してください。
- 角度調整をする場合は、カメラヘッド部に刻印されているTOPを天井側に設定してください。TOPの刻印を床側に設定すると、映像が逆さまになります。

フォーカスアシスト機能

- VIDEO OUTスイッチで、使用するビデオモニターに合わせてカメラの動作モードを切り換える。
- IRISスイッチを押し、アイリスを開放する。
モニター画面にIRIS OPEN表示とフォーカスアシストインジケーターが表示されます。
フォーカスの合った度合によりバー④の長さが変わります。⑤はピークホールド値を示します。
- フォーカスリングを回し、バー④がピークホールド値⑤に達するように調整する。

ドームケースを取り付ける

- スリットカバーを取り付ける。
ご注意
 - スリットカバーは、カメラマウントから少し浮いたところが正しい取り付け位置です。無理に押し込まないでください。
 - レンズリング固定ネジが邪魔になってスリットカバーが取り付けられない場合は、レンズリング固定ネジを別のネジ穴に取り付けてください。
レンズリング固定ネジ用のネジ穴は同心円上に3か所あります。
- ドームケースとカメラ本体を固定する。
ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ(4か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をしっかり締めます。

ご注意

コードが、ドームケースとカメラ本体の間にはさまないように注意してください。コードを回して、ドームケースをカメラ本体に取り付けるときの位置を調整してください。

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANケーブルとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピュータへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANケーブルとコンピュータのネットワークコネクターを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12V
- AC 24V
- IEEE802.3af準拠の電源供給装置(PoE*方式)
* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意

電源入力ケーブルとLANケーブルの両方から電源が供給された場合、LANケーブルからの電源が優先されます。

DC 12 VまたはAC 24 V電源への接続

本機の電源入力ケーブルをAC 24 VまたはDC 12 Vの電源供給装置へ接続します。

- DC 12 VまたはAC 24 Vは、AC 100 Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。
DC 12 V：10.8 V～13.2 V
AC 24 V：21.6 V～26.4 V
- DC 12 VまたはAC 24 Vの配線には、ULケーブル(VW-1 style 1007)を使用してください。

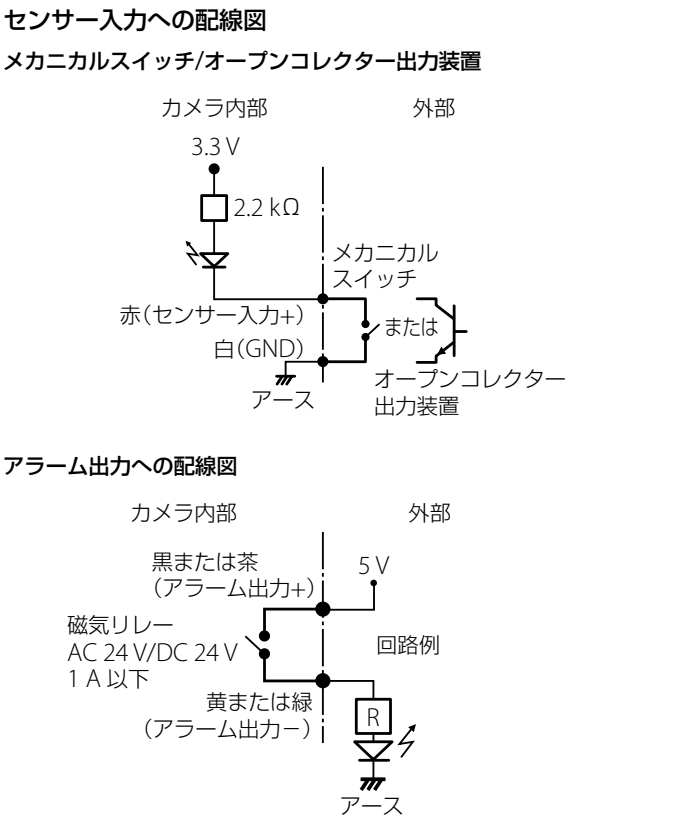
IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続
IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置



主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式 JPEG/MPEG4
音声圧縮方式 G.711/G.726 (40, 32, 24, 16 kbps)
最大フレームレート 30 fps

カメラ (SNC-DM160)

信号方式 NTSCカラー方式 / PALカラー方式(切り換え)
撮像素子 1/3 型インターライン転送方式(ExwavePRO) CCD
総画素数: 約132万画素
有効画素数: 約125万画素
同期方式 内部同期
水平解像度 600 TV 本(アナログビデオ)
映像S/N (AGC 0 dB時) 50 dB以上
最低被写体照度 (F1.3、50IRE時) カラー：0.4 lx (AGC 30 dB、通常読み出し時)
0.1 lx (AGC 36 dB、ライトファンネル時)
白黒：0.08 lx (AGC30dB、通常読み出し時)
0.01 lx (AGC36dB、ライトファンネル時)

カメラ (SNC-DS60)

信号方式 NTSCカラー方式 / PALカラー方式(切り換え)
撮像素子 1/4 型インターライン転送方式(ExwavePRO) CCD
総画素数: 約35万画素、有効画素数: 約33万画素
同期方式 内部同期
水平解像度 400 TV 本(アナログビデオ)
映像S/N (AGC 0 dB時) 50 dB以上
最低被写体照度 (AGC 36 dB、F1.3、50IRE時) カラー：0.15 lx、白黒：0.01 lx

レンズ(SNC-DM160に標準装備)

焦点距離 2.8 mm～10 mm
最大口径比 F1.3
画角 垂直：73.9°～20.8°、水平：100.8°～27.7°
最接近撮影距離 300 mm

レンズ(SNC-DS60に標準装備)

焦点距離 2.8 mm～10 mm
最大口径比 F1.3
画角 垂直：54.7°～15.6°、水平：73.9°～20.8°
最接近撮影距離 300 mm

インターフェース

LANポート 10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション(RJ-45)

I/Oポート センサー入力：×1、MAKE接点、BREAK接点
アラーム出力：×2 (最大AC/DC 24 V、1 A)
(メカニカルリレー出力、本体とは電氣的に絶縁)

映像出力端子 VIDEO OUT (BNC型)
1.0 V p-p、75 Ω不平衡、同期負極性

マイク入力* ミニジャック(モノラル)
プラグインパワー方式対応(基準電圧2.5 VDC)

ライン入力* ミニジャック(モノラル)

*マイク入力とライン入力はスイッチによる切り換え

ライン出力 ミニジャック(モノラル)、最大出力レベル：1 Vrms

その他

電源電圧 DC 12 V±10%、AC 24 V±10% 50/60 Hz、IEEE802.3af準拠(PoE方式)

消費電力 最大 12.9 W
使用温度 電源投入時：0℃～50℃
通電動作時：-30℃～+50℃
保存温度 -20℃～+60℃
動作湿度 20%～80% (結露無きこと)
保存湿度 20%～95%

外形寸法(直径/高さ) **K**
166 mm×119 mm (突起部含まず)
約1.45 kg (ケーブルとブラケット含まず)

質量 約1.45 kg (ケーブルとブラケット含まず)
付属品 CD-ROM (ユーザーガイド、簡単設定ガイド、付属プログラム)(1)、ブラケット(1)、テンプレート(1)、ワイヤーロープ(1)、本体取り付けネジ(4)、段付きネジM4(1)、レンチ(1)、オーディオケーブル(1)、I/Oケーブル(1)、LANケーブル(1)、BNCケーブル(1)、電源入力ケーブル(1)、設置説明書(一式)、保証書(1)

別売アクセサリ

天井埋め込み金具 YT-ICB45

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があります。故障したり事故につながる場合があります。
詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用部品の保有期間

発売終了後、原則7年間保有しますが、場合によっては代替品等に対応いたします。